野いちご（1957）

SMULTRON-STALLET
WILD STRAWBERRIES

メディア	映画
ジャンル	ドラマ
製作国	スウェーデン
色彩	B&W
時間	90分
初公開日	1962/11/01
公開情報	東和
リバイバル	2013/07/20［マジック・アワー］ 2013/07/20［マジック・アワー］

【解説】

サイレント期にはハリウッドまで渡った、スウェーデン映画の基礎をなした名匠シェストレムを主演に迎えて、ベルイマンが人間の一生を深く掘り下げた詩編ともいうべき秀作。医師イサクは５０年に及ぶ業績を讃えられ、名誉博士号授与に赴く前夜、自分が死ぬ夢を見る。彼は息子夫婦の運転で式場のあるルンドへ向かうが、途中、青年時代を過ごした旧宅に立ち寄り、原っぱの野いちごに、積極的な弟に奪われた婚約者サラ（アンデショーン）を想い出す。その後、彼がめとった妻はくだらない男と密通し、彼を傷つけたのだ。邸を発ってしばらくして、ヒッチハイクの三人組を拾うが、そのうちの一人、女学生のサラ（アンデショーンの二役）は昔の想い人にそっくりで、彼は思うままに過ごせなかった自らの青春を悔いる。次に乗せたのは、彼らの車と事故を起こしかけた夫婦者。しかし、その口論があまりにうるさいので降ろしてしまう。が、再びまどろむイサクの夢で、その無知と人生の空疎さをあげつらうのは、夫婦者の夫だった。イサクはそこで初めて、息子エヴァルドの嫁マリアンヌの苦悩を知る。息子もまた自分と似て厭世的で人生を楽しんでいない……。式典を終えたイサクは、例の三人組の祝いの訪問を受ける。勲章よりもそうした、人とのつながりの価値を思い知ったイサクのその夜の夢は、青春の頃に戻りサラに再会する幸福なものだった。人生が走馬灯のように、とはよく言うが、このように老いて、若き日を回想できるものなのか。そのためにも生きねばなるまいと思わせる映画です。

【クレジット】

監督	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman	
脚本	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman	
撮影	グンナール・フィッシェル	Gunnar Fischer	
音楽	エリック・ノードグレーン	Eric Nordgren	
出演	ヴィクトル・シェストレム	Victor Sjostrom	イーサク
	イングリッド・チューリン	Ingrid Thulin	マリアン
	グンナール・ビョルンストランド	Gunnar Bjornstrand	エーヴァルド
	ビビ・アンデショーン	Bibi Andersson	サーラ
	グンネル・リンドブロム	Gunnel Lindblom	
	マックス・フォン・シドー	Max Von Sydow	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.